

評議会だより

第四八六回評議会

平成八年二月二十日(火)

☆(本部署新任命の紹介)

庶務部人事課長 江原 滋

(前文部省大臣官房人事課  
任用班任用第三係長)

☆(部局長候補者の選考結果)

学校教育学部長 間田 泰弘(再任)

経済学部長 前川 功一

医学部部長 吉永 文隆

歯学部部長 松浦雄一郎

歯学部部長 岩本 義史

歯学部部長 新谷 英章

大学院国際協力研究科長 山下 彰一(再任)

原爆放射能医学研究所長 峠 哲哉

附属学校部部長 中西 稔

☆(教員選考報告)

総合科学部

講師 中坂恵美子(社会文化研究)

医学部附属病院

助教授 宗重 博(リハビリテーション部)

歯学部附属病院

講師 虎谷 茂昭(第一口腔外科)

原爆放射能医学研究所

教授 神谷 研二(分子生物研究部門)

☆(報告)

一、広島大学大学院国際協力研究科長候補者選考内規の改正について了承した。

二、黒瀬川流域環境管理総合研究調査が、統合移転完了に伴い本年度末をもって終了し、「広島大学黒瀬川流域環境管理総合研究調査実施要項」を廃止することとした旨報告があった。

三、広島大学とマレーシア国マラヤ大学との間の学術・教育交流に関する協定の締結について報告があった。

☆(議事)

一、教養的教育改革実施要綱について  
原案(修正案)のとおり承認した。

二、広島大学広島地区暫定学生宿舎管理運営規程の制定について  
原案のとおり承認し、本日付けで制定・施行することとした。

三、広島大学ナノデバイス・システム研究センター規程の制定について  
各部署で検討の上、次回の定例評議会に諮ることとした。

四、広島大学放射光科学センター規程の制定について  
各部署で検討の上、次回の定例評議会に諮ることとした。

五、広島大学統合移転実施計画委員会の解散について  
今後は整備委員会等の関連委員会に所掌を移し、本委員会は整備委員会の規程等の整備の時期に合わせて解散し、「広島大学統合移転実施計画委員会規程」を廃止することとした。

六、広島大学統合移転・改革に関する基本計画委員会専門委員会の解散について  
本日限りで解散し、「広島大学統合移転・改革に関する基本計画委員会専門委員会規程」及び「広島大学統合移転・改革に関する基本計画委員会規程の廃止に伴う申合せ事項」を廃止することとした。

七、広島大学整備委員会規程の改正について  
各部署で検討の上、次回の定例評議会に諮ることとした。

八、広島大学とフランス共和国リヨン第一大学との間の学術・教育交流に関する協定を締結することを承認した。

九、副学長制の導入について  
平成九年度からの副学長制の導入に向けて検討を進めていくことを承認した。

医学部保健学科棟(第一期)竣工

医学部保健学科は、平成四年四月に設置以来、東千田キャンパス内の旧総合科学部棟を借用していたが、かねてから念願していた保健学科棟(第一期分)が霞キャンパス内に完成し、二月五日には旧総合科学部棟からの移転完了を祝して、調枝医学部長、学生代表などによるテープカットが行われた。

竣工式は、二月七日に同棟九階実習室を会場とし、学内関係者、学生など約一三〇名が出席して開催された。式では、調枝医学部長が挨拶、原田学長、杉中歯学部長、佐藤原医研所長が祝辞を述べた。

竣工式終了後、同棟の施設見学に引き続き祝賀会が開催され、盛大に完成を祝った。

なお、完成した同棟は、鉄筋コンクリート十階建て、延べ面積約四八八平方メートルで、講義室、研究室、実習室からなっている。

(医学部総務課)



保健学科棟

財団設立の動き、急ピッチ

財団設立の動きが急ピッチで浮上してきた。これは、佐竹製作所創業百周年記念で寄附が決定したことなど明るい見通しがたってきたため、今後、設立のためのワーキンググループで検討することになった。

地域共同研究センターで  
テクノフォーラム

地域共同研究センター(センター長 長町三生工学部教授)は、二月十六日と二十一日に、産業界を対象にした「テクノフォーラム」を、工学部と理学部教室で開催した。

二月十六日は、「環境工学における感性の役割」のテーマで建設省土木研究所の竹林征三環境部長が講演し、二十一日は、「器官再生」のテーマで理学部の吉里勝利教授が、その他、「ウミガメの甲羅の生化学的性質およびその産生細胞」のテーマで長崎県工業技術センターの晦日房和研究員が、「微生物由来のプロリンヒドロキシレース」のテーマで同センター客員教授の坂戸邦昭協和発酵工業(株)医療開発センター部長が講演した。

学生寮閉寮に伴う話し合い、物別れ

広島市内の学生寮は、東広島地区への移転に伴い閉寮する予定になっており、去る一月二十四日、学生委員会では学生側十一名と話し合ったが、学生側は寮の存続または現状に見合う代替施設の要求を主張し、話し合いは物別れに終わった。

学部長候補者などの選考が進む

任期満了に伴いそれぞれの部署では部長候補者の選考が進められてきたが、このほど選考結果が発表された。

学校教育学部長として間田泰弘教授と国際協力研究科長の山下彰一教授が再任されたほか、経済学部長に前川功一教授が、医学部長に吉永文隆教授が、歯学部附属病院長には松浦雄一郎教授が、歯学部長には岩本章教授が、歯学部附属病院長には新谷英章教授が、原爆放射能医学研究所長には峠哲哉教授が附属学校部長には中西稔教授が選出された。発令は四月一日の予定。